

# トミーの週末ガーデニング

文:富山昌克



## 栽培手順

### 土作り

タネまきの1週間前に、園芸培養土をプランターに入れ、土の表面が薄く白っぽくなるように苦土石灰をまいておきます。野菜用化成肥料を一握り施します。

### タネまき

ホームセンターや園芸店でタネを手に入れます。かまぼこの板などを使い、深さ5mmのまき溝を作り、1cm間隔でタネをまきます。固まらないようにパラパラ落とすようにまくのがポイントです。タネに土をかぶせ、軽く押さえます。畑では条間(作物を植えた列の間隔)30cmです。まきますが、小さなプランターでは、ジグザグ(千鳥足状)に溝を作り、タネをまきましょつ。

### 1回目の間引き

双葉が開くと、株間3、4cm間隔になるように間引いて、株元に土寄せします。間引きし

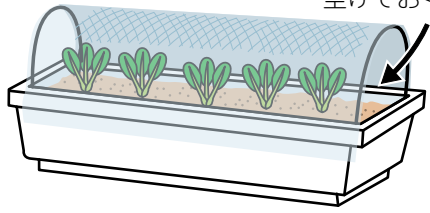


## はじめてのコマツナ

梅雨明けの夏の強い日照りには、**寒冷紗**で防暑



側面は風通しを良くするために、空けておく



た幼苗は味噌汁の具や、浅漬けやコマあえにするとおいしくいただけます。

### 2回目の間引きと追肥

本葉4枚(草丈10cm弱)に成長すると、株間6、7cm間隔になるように間引いて、株元に土寄せします。化成肥料を1㎡あたり、30g施肥します。プランターやコンテナの用土が沈み、減ったような気がしたら、増し土をしましょつ。

### 収穫

草丈が25cmになったら、地際を持って株ごと抜き取り、しっかり土を落としましょつ。大きくなり過ぎる前に収穫するのがポイントです。



## コラム

### ■病害虫の対処

アブラムシが発生したときは、牛乳を2倍に希釈して散布しましょつ。  
葉の表面が小麦粉をうすうすらけたような白い感じになったら、うどんこ病です。1ℓの水に重曹を1g溶かし散布します。



右側：正常な葉  
左側：うどんこ病の葉

### ■タネまきは春から秋に

冬にタネまきをすると、低温に遭い、茎の先端にある生長点(花芽)になり(花芽分化)、春に開花します。つぼみが出てくると栄養が全てつぼみに取られるため、食べてもおいしくないのです。そのまま結実させてタネを採ってみましょつ。「タネをまいて、タネを採る」。これができると園芸家と言えますよ。

### ■収穫は外側の葉から

収穫するとき、株全体を抜かず、外側の葉だけを順番に収穫していくと、長期間収穫することができます。

タネまきから1か月程度で収穫できる、初心者向けの葉菜類です。



コマツナは東京都江戸川区小松川付近が発祥の地といわれています。ビタミンC、ビタミンB群、カロテン、カルシウム、鉄分などが豊富に含まれており、女性に人気の野菜です。春から秋までタネまき可能で短期間で収穫できます。とれたてが一番おいしいので、収穫後はすぐに調理することをお勧めします。収穫しなごままおいておくとおいしくなくなるので、一度に大量に作らないようにして、1週間ずつずらしてタネまきする「ずらしまき」を行います。